

グラデーション文字

1	自動線存 ● 2 日 9 - 2 日 9 - 2 日 9 - 3 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7	「レイアウト」→「白紙」。
2	D 9 0 日 9 0 日 4 0 日 7 0 日 9 0 日 4 0 日 7 0 日 9 0 日 4 0 日 7 0 0 日 4 0 日 7 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	「挿入」→「図形」→「正方形 / 長方形」。
3		スライドいっぱいに四角形を描きます。
4		「挿入」→「テキストボックス」で、 テキストボックスを描き、文字を入力。 フォントやサイズ・位置を調整。
5	GRADATION	テキストボックスと四角形を選択。

このマニュアルは PowerPoint Office 365 バージョン 2002 で書かれています

6		「図形の書式」→「図形の結合」→「型抜き / 合成」。
		四角形に文字の形の穴が開きます。 GRADATION
7	Abc Abc マ 図形の投線マ ▲ ▲ 図形のスタイル マーマの色 マーマの色 ● <td< th=""><th>「図形の枠線」→「枠線なし」。</th></td<>	「図形の枠線」→「枠線なし」。
8	目勤保存 ● 20 日 り ● 2 日 ▲ - 日 マ パレンテーション ファイル ホーム 挿入 描画 デザイン 画面切り詰え アニメーション スライド () 人切り取り () 人切り取り () () () <t< th=""><th>画面左のスライドのサムネイルの下のあたりをク リックし、「Enter」キーで新しいスライドの作成。</th></t<>	画面左のスライドのサムネイルの下のあたりをク リックし、「Enter」キーで新しいスライドの作成。
9		「挿入」→「図形」→「正方形 / 長方形」で、 また、スライドいっぱいに四角形を描きます。
10	ション1 - PowerPoint ク 検索 ライド ショー 校閲 表示 ヘルプ Acrobat 図形の の形の塗りつぶし ~ Abc Abc ク 図形の塗りつぶし ~ Abc Abc の 図形の塗りつぶし ~ (の Zタイル マ 図形の効果 ~ マ 図形の効果 ~	「図形の枠線」→「枠線なし」。





19		四角形をクリックし、「Ctrl」+「D」キーで複製。
20		180°回転させ、最初の四角形の右側にぴったり配置。 ※ 作業がしやすいように、「Ctrl」を押しながらマ ウスホイールを回転させ、表示を縮小させて行い ましょう。
21		最初の四角形を選択し、「Ctrl」+「D」キーで複製。 さらに右側にくっつけます。
22		「Ctrl」+「A」で全ての四角形を選択し、 「Ctrl」+「G」でグループ化。
23		スライドの位置がわかるように、四角形を少し下 に移動。 このとき、四角形の左端とスライドの左端がズレ ないようにしましょう。
24	Provension and a set of the set of t	「アニメーション」→「アニメーションの追加」→ アニメーションの軌跡「直線」。

25	「 「 」 加厚の オブション・ 方白 正梁 (下へ)(E) 「 」 「 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 』	「効果のオプション」→「直線(左へ)」。
26		 アニメーションの軌跡の終点 をクリック。 を「Shift」キーを押しながらクリックし、左に スライド 1.5 枚分移動させます。 境目が見えづらいですが、グラデーションの四角 形の右端がスライドの右端に来る位置です。
27		先ほど四角形を少し下にずらしたので、元の位置 に。
28	か果の オブション × 「5 「5 「」 」	「アニメーション ウィンドウ」をクリック。 ※ 既に「アニメーション ウィンドウ」が開いてい る場合は必要ありません。
29	アニメーションウィンドウ × × ♪ ここから再生 ▲ ▼ 1① → グループ化 4 ▼	「アニメーション ウィンドウ」の項目をダブルク リック。
30	画様(左へ) ? × 効果 943207 設定 7(2(1): パス(1): 0秒 滑らかに騎珍(N): 0秒 漁に終了(N): 0秒 急に終了(B): 0秒 オートリバース(U) 登 第週 (サウンド(S): [サウンドなし] アニメーションの後の動作(A): 泳(しない) テキストの動作(X): () 0K キャンセル	「滑らかに開始」と「滑らかに終了」のスライダー を左に動かし「0 秒」に。

